

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <https://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



飛行日誌



人生百年時代といわれているけれど、どう考えてもぼくには無縁のよう
な気がする。今日まで(六八歳生きてこられたのも幸運だったとしか
言えない。二十五歳で大病を患い不自由な体とともに、ちよつとはしんど
い思いもしたけれど、それ以上に優しく親切な人々に支えられて生き
てきた。

もし、ぼくが子供の頃から体が不自由であつたなら、子供の世界では酷
い苛めにあつたかもしれないけれど、大人は面と向かつて障害者を苛め
たりはしない(組織や仕組みはかなり不平等であっても)。みんな優しさ
に満ち溢れている。逆にぼくの方がその優しさに甘え、図に乗ってやりた
い放題をしたと思う。年をとると多かれ少なかれ、体が弱くなるにつれて
我がままになり、自分の殻に閉じこもって、往々にして傲慢で、自分勝手
な振る舞いをするようになる。ここまで苦勞して来たんだから、少しの我
がままくらいいいだろうとか、今さら自分の流儀を変えるなんてとても
できないし、最後は自分らしく生きるんだと、歳とともに自分の都合のい
い理屈を並べる。

若い時にぼくはさんさん人様のお世話になつてきたので、せめてこれ
からは誰かの役に立って死にたいと思うのだが、不自由な体はもう人様
の手を借りることに十分に馴染んでいて、他人に迷惑をかけたくないと
いう気持ちは、口先だけのきれいごとでしかないような気がして、恥ずか
しくなる。

人間は誰もが支え合つて生きて行くものだと言うけれど、支えられ
ばなしの者にとつては、自分は厄介者なんだという気持ちの方が強い。それ
は家庭でも施設でもそう変わるものでもないと思う。利用者が介護施設
やデイサービスなどで強気で、介護士に自分のケアを要求するのは、自分
の中で合理化(金を払っているとか、先輩だとか、年寄りや弱者だからと
か)をしなければ、生きていて申し訳ありませんという気持ちに押し潰さ
れてしまふようになるからかもしれない。そうだからと言って、障害者や
高齢者は身勝手なことをやっていいということにはならないけれど、ケ
アをされる側も心にどうしようもないやるせなさや闇を背負っているの
である。人様の世話になり続けている人の心の中には常にうしろめたさ
があつて、自分は厄介者という引け目を持ちながら、それでも生きて行か
なければならぬ辛さを抱えているのである。

緑樹苑デイサービスセンター夏まつりを開催



8月23日(火)、緑樹苑デイサービスセンターでは夏まつりが行われた。

「祭と書かれたうちわを片手に、皆さんまつりの開催を待ちわびた様子。まずは『金魚すくい』。一番多くすくった方には景品もあるとの事で、皆さん真剣な表情で取り組まれていた。また、真剣になり過ぎて手で金魚を掴まえようとすると、手もいたたり盛り上がった。景品は、デイサービスで収穫した野菜。獲得した利用者は景品を手にし笑顔を見せていた。

続いて『スイカ割り』。我こそはと立候補する方もおり、数名が挑戦。中々割れなかったが、ついに割れると歓声が上がった。割ったスイカはかき氷と一緒にいただいた。まつりの締めは、職員によるエイサーを披露。演奏に合わせて手拍子をしたり一緒に手踊りする方も。最後は全員でカチャシーを踊り、幕を閉じた。

利用者の皆さんからは「最高」「来年もやってね」等の楽しい声がかれた。(知念綾乃)



旧盆の中、緑樹苑エイサーを披露 緑樹苑デイサービスセンター



緑樹苑デイサービスセンターでは、コロナ禍でなかなか見る事の出来ないエイサーを、利用者の皆さんから見たいとの声があり、旧盆の中となる8月11日(木)に職員でエイサーを披露した。

本番では、職員がエイサーの衣装を身にまとい、利用者から「似合っている。かつこい。きれいだね」などの声もあり、地謡の三線演奏に合わせてエイサー演舞を披露した。最後の曲目となる『唐船ドリー』では、前に出て一緒にカチャシー踊る利用者もいて、盛り上がった。

「今年はエイサーを見る事が出来て良かった」と喜ぶ声がかれた。(知念百合子)



ひまわりが咲きました！ 緑樹苑デイサービスセンター



「こんなに大きかったけ？」
2メートルを超える高さまで育ったひまわりを見て口々に声を揃えた利用者の皆さんと職員。「子どもの頃は大きく感じたけど、今見ても大きいさ」と青空に向かって育つひまわりにビックリした様子。
次は農園いっぱいひまわりを咲かせようと話が盛り上がった。(渡久地二)



シブイ(冬瓜)収穫！ 緑樹苑給食センター



7月下旬、緑樹苑内の畑では、シブイ(冬瓜)が収穫期を迎え、このほど収穫された。
小さな畑ながら、大きなシブイが15個も実をつけ、大きなものでは約40センチほどもあった。
収穫したシブイは、さつそく、施設の食事メニューの一つとして、利用者の皆さんに振る舞われた。



散髪してサッパリ！ ケアハウスていんさぐぬ花



7月25日(月)・26日(火)、ケアハウスていんさぐぬ花では、訪問美容「もくれん」さんが施設を訪れ、利用者の皆さんの散髪を行った。
散髪した利用者の皆さんは「若くなっているねー」、「可愛くなっているさー」など、久しぶりの散髪でさっぱりし、喜んでいました。
散髪後はスッキリした表情で、美容師の方々に「ありがとうねー」「また来てちょうだいね」と、笑顔をおくっていた。



7月・8月誕生日会 緑樹苑デイサービスセンター



8月5日(金)、緑樹苑デイサービスセンターでは、7月8月生まれの方の合同誕生日会を開催した。誕生者の中には体調不良でお休みされている方もいたが、感染対策を実施しながら行われた。
誕生日を迎えた利用者を紹介し、皆で誕生会の歌を合唱。職員による余興では、比嘉樹主任による三線ショーで盛り上がった。唄と一緒に口ずさんだり、手踊りして楽しんでいる様子が見られ、楽しい時間を共有した。振る舞われたデザートも「美味しかった」と皆さん喜んでいました。最後は参加者全員で力キャラクターを踊り、笑顔溢れる誕生会となった。(知念百合子)



夏休みもたくさん遊びました！



クイズ大会！みんな真剣に考えています。

遊びの合間のおしゃべりタイム。話が盛り上がっています！



1000ピースパズルを完成させました！



裏庭に「こびと」がいるはず！こびと図鑑をひろげてこびとを探しています。



うーまーくー通信

夏休みの様子

二年ぶりに長い夏休み。みどり学童クラブの子ども達も元気に通っていました！楽しみにしていた遠足は残念ながら中止となってしまいましたが、たくさんの友達と遊べた毎日は、子ども達にとって良い思い出になったと思います。



子ども達のあいだでは「写し絵」が流行っています！

「3目ならべ」みどり学童クラブの子ども達は頭脳系ゲームが大好き！



「将棋崩し」やってます！懐かしい遊びも人気です。



新しい遊具の「4目並べ」。はまって一日中やっています。



昼食後は静かに過ごしています。同じものを読みたいときは仲良く見えています。



9月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(木)		おやつ会(2階)	脳トレ		
2(金)			スカッシュボール		
3(土)			手工芸		園外活動
4(日)					
5(月)		書道クラブ	民舞		
6(火)			歌会		
7(水)	ミニシアター	消防設備点検	映写会	手作りおやつ会	
8(木)		おやつ会(3階)	脳トレ		
9(金)			輪投げ		
10(土)			手工芸		園外活動
11(日)					
12(月)		ミニシアター	民舞		
13(火)			防災訓練		
14(水)	ミニシアター		映写会		
15(木)		おやつ会(4階)	誕生会	カフェタイム	
16(金)					
17(土)			手工芸		園外活動
18(日)					学童休園日
19(月)		書道クラブ	民舞	デイサービス敬老会	
20(火)			敬老会		
21(水)	ミニシアター	消防避難訓練	映写会		
22(木)			脳トレ		
23(金)			塗り絵		学童休園日
24(土)			手工芸		園外活動
25(日)					
26(月)		ミニシアター	民舞		
27(火)			歌会		
28(水)	ミニシアター		映写会		
29(木)			脳トレ	誕生会	
30(金)			塗り絵		



今月19日は「敬老の日」



9月の第三月曜日は『敬老の日』です。多年にわたり、社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う日、となっています。

また、老人福祉法では、9月15日を『老人の日』としており、この日から21日までを『老人週間』と定めています。国民の間に広く老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促すため、老人の日及び老人週間を設ける、とされています。感謝を込めて高齢者を敬うとともに、長寿を祝いましょう。



緑樹会のホームページから
竹とんぼをご覧いただけます。



または
インターネット検索で
緑樹会 竹とんぼ

検索